

# 学び合い・ふれあい・支え合う学校

みんなの学び舎 栃木中央小学校 学校だより 10月号

「日惜」～一日一日を大切にし、焦らず急がず、地道に努力～

校長 玉田 浩



小平浪平氏

明治5年「邑に不学の戸なく、家に不学の人なからしめんことを期す」として学制が発布された翌年の明治6年、本校の前身である「日惜舎」は近龍寺の一部を借りて校舎が設置され、6月で145年が過ぎました。その間、本校からは多くの著名人を輩出しています。「路傍の石」の作者であり本市名誉市民でもある文豪山本有三や、「花物語」の作者である女流作家吉屋信子は有名ですが、もう一人、日立製作所の創業者である小平浪平も、本校の出身です。現在では家電製品のほか、IT部門からバイオテクノロジーといった最先端技術や物流など、あらゆる事業を世界中で展開する日立製作所ですが、その創業者が本校出身であるとは、なんとも誇らしい限りであると同時に、改めて本校の歴史と伝統の重みを感じます。

さて、小平浪平とはどのような人物だったのでしょう。浪平は1874年（明治7年）栃木市合戦場地区に生まれ、明治13年に合戦場小（当時の淑慎学舎）に入学しましたが、後に栃木小学校（栃木第一小学校の前身）に転校しています。その後、栃木高等小学校を経て上京、やがて東京帝国大学（現在の東京大学）に入学します。

浪平は、東京帝国大学を卒業後、就職して鉱山の電気技師として赴任し、後に発電所建設に携わります。当時の明治政府は積極的に産業を興し国家の近代化を進めていましたが、実際の発電所建設では、そのあらゆる機器が外国製であり、設置に際しても外国人技師に指導を仰ぐ義務があったそうです。現実を目の当たりにした彼は強い危機感を感じ、国産技術の確立と発展を誓います。

1908年（明治41年）、茨城県の鉱山の谷間に粗末な小屋を建て、そこで国産発電機の開発に取り組みました。冬は寒さも厳しく、一からの手作りですから大変な苦労もありました。外国の技術を「模倣」したほうが確実ですし失敗もなくて済む中、あくまでも「国産技術」の確立を目指し、オリジナリティーにこだわって挑戦し続けたのです。そして、1910年（明治43年）ついに国産初の5馬力発動機3台を完成させました。この小屋こそが、世界の日立製作所の創業となるわけです。その後も幾多の失敗と困難を乗り越え、次々と躍進的な技術を開発する傍ら、徒弟学校（人材育成の学校）を設立して人材育成にも力を尽くし、国産技術の発展に大きな足跡を残しました。

浪平のこの生き方は、正に日惜舎建学の精神である「日を惜しむ」の思いで挑戦し続けた姿と言えるのではないでしょうか。ちなみに浪平の命日は10月5日。昨年のこの日、栃木商工会議所が中心となり、「小平浪平翁記念会」が設立されました。

歩みを止めてしまえば、絶対にゴールテープを切ることはできませんが、一歩ずつでも歩を進めれば、必ずゴールに近づくことはできます。子どもたちも、一日一日を大切にし、焦らず急がず、地道に努力しながら自分の夢に向かってあきらめずにチャレンジし続けることができるよう、これからも応援していきたいと思います。



今も残る小平浪平氏の生家

## 教育実習・一日学校観察



4の1での実習の様子

9月10日(月)～10月5日(火)までの4週間、白鷗大学より3年生の学生が1名、教育実習にきました。主に4年1組に入って、授業を観察したり指導の補助をしたり、時には、自分で授業を担当したりしました。

給食指導や清掃指導のほか、休み時間は一緒に遊び、子どもたちとの触れ合いをとおして、教員としてのやりがいや使命感を肌で味わい、将来の自分の姿に思いを馳せることができました。

また、14日(金)には國學院大學栃木短期大學より3名の学生が、養護教諭1日観察として、保健室での執務の実態や養護教諭としての心構えを学びました。こちらも、1日だけではありましたが、実際に保健室で子どもに対応し、養護教諭の職務の重要性について学ぶことができました。



保健室1日観察

## トップアスリート訪問



子どもたちに講話をする西山さん

県のオリンピック・パラリンピック教育推進事業の一環として、9月21日(金)に、トップアスリートの学校訪問がありました。来てくださったのは、北京五輪ソフトボール金メダリストの西山麗さんと、同じくシドニー五輪銀メダリストで栃木市出身の石川多映子さんです。初めに体育館で「トップアスリートから学ぶ」と題して、西山さんから講話をいただき、夢をもち続けること、

夢に向かって努力することの大切さを教えていただきました。その後、5・6年生を対象に、体育館での実技交流です。ボールを投げるコツを教えていただきました。最後に、4年生と日憎ホールで一緒に給食をいただきました。2年後には東京



実技交流



子どもたちと楽しく会食

でオリンピックが開催され、ソフトボールも追加種目になりました。オリンピックをより身近に感じるとともに、それぞれの夢に向かって努力できる子どもになってほしいと思います。

# 10月

## 主な行事予定

- |        |                          |
|--------|--------------------------|
| 1日(月)  | 新採正式訪問(2の3)              |
| 2日(火)  | なかよし集会                   |
| 4日(木)  | 6年修学旅行(5日まで)             |
| 9日(火)  | 4年宿泊学習(10日まで) 読書期間(~19日) |
| 12日(金) | 栃木市小学校陸上交歓会              |



## 新採事前訪問

今年新採として本校に赴任した田代先生。9月13日(木)には、正式採用に向けての事前訪問がありました。これまでの教員としての歩みを振り返るとともに、今後に向けていろいろと御指導いただきました。2の3の児童は、心地よい緊張の中にも伸び伸びと活動していました。正式訪問は10月1日。この日を節目に、教員としてますます成長してほしいと願います。



みんなやや緊張気味?

## 山本有三週間(後期)

9月18日(火)～21日(金)、本校の特色ある教育の一つである「山本有三週間」として、各階に有三先生に関連するコーナーを設けました。有三先生の作品に触れ、有三先生の教えから学び、「生命・人権」を尊重し、「絆」を深めながら、これから的一人一人の生活に生かしてほしいと思います。



各階に有三先生のコーナー設置

## 避難訓練



安全な場所はどこかな

9月26日(水)に避難訓練を実施しました。今回は竜巻発生時の訓練ですが、これまでと違い、授業中ではなく清掃時の発生を想定しました。近くに教員がいなくても素早く安全に避難できるようにすることがねらいです。事前に安全な場所や避難の仕方を確認しておいたので、当日は落ち着いて行動できるように思えますが、改善点も見えてきました。これからも、様々な形での訓練を行い、いざというとき自分の命は自分で守る意識を高めたいと思います。



息の合った美しいハーモニー

## 下都賀地区音楽祭

9月27日(木)、栃木文化会館において下地区音楽祭が開催され、本校からも合唱部が出場、曲は「コスモス」。これまでの練習の成果を存分に發揮し、心が一つになった美しいハーモニーを披露、悲願の県大会出場を決めました。

## お世話になりました

お休みしていた土屋先生に代わり、4月から島田八重子先生が「ことばの教室」を担当してくださいましたが、28日より大平東小学校に御異動となりました。半年間でしたが、たいへんお世話になりました。今後は土屋先生が担当します。

- |        |                  |
|--------|------------------|
| 13日(土) | ハロウィンバザー         |
| 15日(月) | なかよしランチ(ピクニック給食) |
| 17日(水) | 演劇鑑賞会            |
| 22日(月) | 就学時健康診断          |
| 23日(火) | 生き生き健康講座(P厚生部)   |
| 24日(水) | 卒業記念写真撮影         |
| 29日(月) | 教育実習(~11/2まで)    |